



第19回バイオダイナミクス研究会

「Seeing is believing」

～タンパク質中の不安定な構造可視化と化学～

日時：2026年9月15日(火) 15:00–16:30

場所：研究棟739号室

演者：海野 昌喜

(茨城大学学術研究院応用理工学野)

要旨：タンパク質の機能を研究するにはその立体構造情報は重要である。現在では、AlphaFoldをはじめとする構造予測の一般化やクライオ電子顕微鏡の技術革新によって、構造生物学の立ち位置も変わってきた。しかし、酵素反応中間体構造や酸化還元を伴うタンパク質のプロトン化状態などは、上述した技術をもってもまだ容易にはわからないことが多く、実際に構造を明らかにすると予測不可能な事が起こっている。今回は、X線と中性子線等の他のプローブを併用して明らかにした予想外の構造と機能の相関について議論したい。



主催：バイオダイナミクス研究センター

世話人：當舎 武彦